

環境・農水常任委員会

- 1 開催日時 平成 27 年 1 月 28 日（水） 10 時 00 分～11 時 48 分
- 2 開催場所 第三委員会室
- 3 説明員 琵琶湖環境部長、農政水産部長および関係職員

4 議事の概要

【琵琶湖環境部】

(1) 水源林保全のための仕組みづくりについて

委員からは、

- ・住民に対する条例の趣旨の周知に積極的に取り組むことが課題の解決のためには不可欠である

などの意見が出された。

(2) (仮称) 生物多様性しが戦略(案)に対する意見・情報の募集について

委員からは、

- ・このプランがどれくらいの時間軸を想定しているか、またどれくらいの限界があるのかについて明確にしておくべき
- ・タイトルの「戦略」という文言は見直すべき

などの意見が出された。

(3) 旧 RD 最終処分場問題に係る責任追及の状況について

【農政水産部】

(4) 6次産業化の取組状況について

委員からは、

- ・たとえば県の「スポーツと文化の 10 年」に合わせて、スポーツ用の食品や健康食品などをコンセプトとして県が打ち出すなどの施策があっても良いのではないか
- ・6次産業プランナーのような役割を県の職員が果たせるように人材育成をするなどして確保するべきではないか
- ・消費者側の評価を聞いて生かすことが大切。調査などをして把握すべき
- ・国の認定を受けた総合化事業計画を進める際には、農地転用などについての対応を柔軟にして、手続を簡素、迅速にするなどの努力をすべき

などの意見が出された。

(5) 高病原性鳥インフルエンザの発生と本県の対応について



委員会で配付された資料

- 1 水源林保全のための仕組みづくりについて
- 2 (仮称) 生物多様性しが戦略(案)に対する意見・情報の募集について
- 3 旧RD最終処分場問題に係る責任追及の状況について
- 4 6次産業化の推進について
- 5 6次産業化リーフレット
- 6 高病原性鳥インフルエンザの対応について